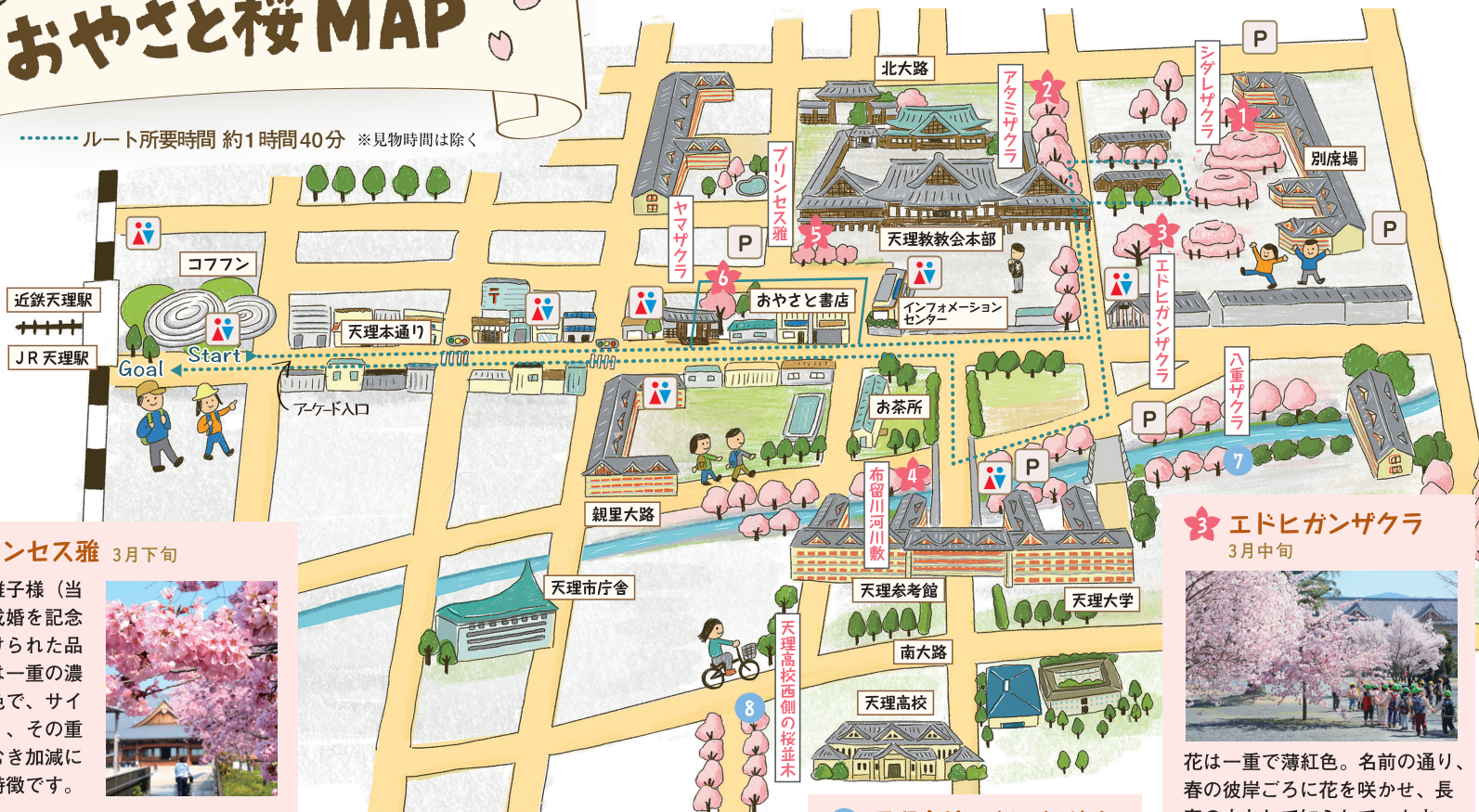


天理さくらウォーク おやさと桜MAP

..... ルート所要時間 約1時間40分 ※見物時間は除く



天理教教会本部

人間創造の元の場所である「ぢば」に、天理教教会本部の神殿が立っています。全人類の故郷であることから、ぢばを中心とする一帯を「親里（おやさと）」と呼んでいます。神殿には、ぢばを囲んで東西南北に礼拝場があり、一年中開放されていて、どなたでも参拝できます。

1 シダレザクラ 3月下旬



シダレザクラは天理の「桜の顔」。支柱で枝を支えることで、大きく成長しました。大木の一面に花が咲くさまは圧巻です。シダレザクラは神様のお話を伝える施設（別席場）に隣接していることから、見学する際は、お静かにお願いします。

5 プリンセス雅 3月下旬

皇太子妃雅子様（当時）のご成婚を記念して名づけられた品種。花弁は一重の濃いピンク色で、サイズが大きく、その重さでうつむき加減に咲くのが特徴です。



6 ヤマザクラ 4月中旬



遅咲きの桜。白い花と若葉が同時に開くのが特徴で、古くから和歌に詠まれています。

4 布留川河川敷 3月下旬～4月初旬



ソメイヨシノ、ベニシダレザクラ、陽光ザクラなど5種類の紅白の桜、数十本が一斉に開花します。陸橋からの展望がお勧めのビューポイントです。

8 天理高校西側の桜並木 3月下旬～4月初旬



天理高校グラウンドの西側道路沿いには、ソメイヨシノの桜並木が続きます。満開時は、さながら桜のトンネルのようです。

3 エドヒガンザクラ 3月中旬



花は一重で薄紅色。名前の通り、春の彼岸ごろに花を咲かせ、長寿の木として知られています。

7 八重ザクラ 4月中旬



遅咲きの桜で開花期間は長め。花弁は多く、ボリュームのある花を咲かせます。

2 アタミザクラ 3月初旬～下旬



日本列島で最も早咲きの桜で、インド原産の寒桜の一種。開花期間は1か月以上と長く、淡いピンク色の一重の花を咲かせます。



なら歴史芸術文化村



天理の春を彩る 「お供え」のサクラ

天理は知る人ぞ知る「桜の名所」。

13 品種、約 2 万本もの木々が

3 月初旬から 4 月中旬にかけて

濃淡さまざまなピンクの花を咲かせます。

この桜の木々のほとんどは

全国各地の天理教信者から

お供えされたものです。

寄せられた苗木は、丹精込めて生育された後

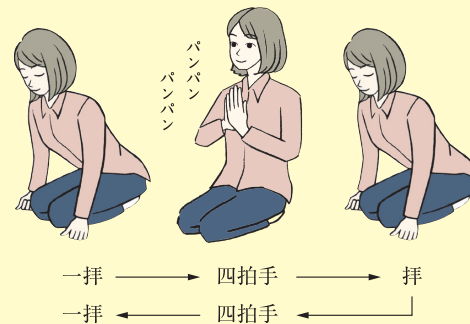
神苑周辺の各所に植えられました。

天理を思う人々の真心が春を彩り

この地を訪れる人々を楽しませているのです。



天理教教会本部 神殿参拝の作法



- ①神殿の中央「ちば」に向かって正座する。
- ②両手をついて一拝し、4 回手を叩き(四拍手)、両手をついて礼拝する。このとき、日々のお礼やお願いごとを述べる。
- ③礼拝が終わったら再び四拍手し、両手をついて一拝する。

おやさと書店

天理本通りの東側（神殿側）入り口付近にある「おやさと書店」(MAP中央)では、天理教の教義書など、天理教に関する書籍を多数取り扱っています。また「天理カレー」をはじめ、オリジナルTシャツや手ぬぐいなどのお土産品も販売しています。併設の休憩スペースでは、フリー Wi-Fi が利用でき、おいしいコーヒー自販機も設置しています。ぜひお立ち寄りください。



ご来店の方に
オリジナルポストカードを
プレゼント!

書店員にお声がけください



【問い合わせ】 奈良県天理市三島 432-1 TEL 0743-63-2684

▶ Instagram

桜の様子を随時、発信中。またメンション「@tenrisakurawalk」を付けた写真の投稿もお待ちしています。



▶ Landing page

天理の桜の写真や動画が見られるほか、マップも利用できます。



周辺の観光情報については で検索!